

2022年度（令和4年度）土木学会全国大会

第77回年次学術講演会

実施要領（詳細版）

全国大会実施期日……2022年9月14日（水）、15日（木）、16日（金）の3日間

※開催方法変更の可能性があります。変更時にはHPで周知します。

実施場所……国立京都国際会館、京都大学 吉田キャンパス

講演申込期間——2022年3月3日（木）12時から4月1日（金）17時まで

※2月18日（金）17時までに入会手続（入金まで）が完了していない場合は、講演申込できません。

※会費を滞納している方は講演申込できません。2月末日までに本年度（2021年度）会費をお支払いください。

当実施要領（詳細版）を熟読のうえ、お申し込みください。

- ・講演申込には、土木学会の会員登録情報に登録されているメールアドレスが必要となります。（参加登録システム Confit のアカウント情報とは別になります）
- ・メールアドレスが未登録の方は、2022年2月18日（金）17時までに必ず登録いただくようお願いいたします。
- ・また、土木学会の会員登録情報に、複数人で同じメールアドレスを登録している場合は重複しないそれぞれのメールアドレスの登録が必要となります。
- ・令和4年度大会の講演概要集は、WEB閲覧形式のみとなります。DVDの発行はありません。
- ・今年度の講演時間は従来のおり7分間を予定しています（質疑応答時間を除く）。
- ・講演申込は、WEBフォームから電子的に行っていただきます。
- ・講演申込を取り下げの場合は、必ず4月1日（金）17時までに講演申込の取消を行ってください（投稿料をお支払いの場合は、聴講料として取り扱いさせていただきます）。
- ・2022年4月6日（水）17時以降の講演原稿の修正、登録内容の変更はできません。（p.4に詳細を掲載しておりますので、必ずご確認ください）。
- ・投稿原稿はPDFファイル形式で受け付けます。A4判タテ型2頁を厳守ください。
- ・講演申込画面の和文概要には、社会に対する役割を踏まえて、研究の目的、要旨（特色）、結論を300字以内で簡明に記述して下さい。また、英文タイトルも必ず記入して下さい。
- ・聴講参加者は聴講申込が必要です。
- ・土木学会のCPD（継続教育）対象プログラムです。
- ・今年度は一時保育施設の開設に代わり、助成制度を設けました。詳しくは大会HPをご覧ください。
- ・最新情報は、<https://zenkokutikai.jsce.or.jp/2022/> をご覧ください。

目次

・日程一覧……………2	1. 年次学術講演会の概要……………3
・講演者・聴講者の資格と登録参加料……………2	2. 講演申込方法……………4
・問合せ先一覧……………3	3. 聴講のみで参加される方……………6
	・共通セッションテーマ……………7
	・部門別セッション名……………10
	・講演原稿執筆要領……………12

●日程一覧

(年次は西暦 2022 年)

月	講演者	聴講のみの参加者
3	講演申込みの受付開始： 3月3日(木) 12時よりインターネット上で受付開始 ※非会員の方は2月18日(金) 17時までに入会手続き(入金まで)を完了して下さい。	
4	講演申込みの締切： 4月1日(金)17時まで 講演申込みの確認： 4月4日(月)13時～6日(水)17時まで 投稿料の支払い： 4月1日(金) 23:59までに講演申込画面より、コンビニ支払またはクレジットカード支払い手続きを行ってください。	
6	ホームページ https://zenkokutaiikai.jsce.or.jp/2022/ において年次学術講演会プログラム等の掲載(6月中旬)	聴講申込受付期日：6月6日(月) 13時～ ※以降の受付日時・期間は下記表(●講演者・聴講者の資格と登録参加料)に記載の内容を参照ください。
7	学会誌7月号もしくは8月号において大会案内(チラシ)を同封	
8	・8月上旬にご登録のE-mailアドレスに講演概要集公開サイトへのアクセス方法をお知らせいたします ・8月中にご登録のE-mailアドレスに入場証(名札)をメールいたします	
9	全国大会開催：9月14日(水)、15日(木)、16日(金)	

●講演者・聴講者の資格と登録参加料

(年次は西暦 2022 年)

資格	講演者 (投稿料)	聴講者(聴講料)				
		早期割引期間		通常料金期間		
		期間①	期間②	9/9(金)～大会当日 ※クレジットカード決済のみ		
		期間① 6/6(月) 13時～7/22(金) 17時まで 期間② 8月上旬～9/8(木) 17時まで ※7/23(土)～7/31(日)の間はデータ移行期間のため、申込不可 ※期間②はクレジットカード決済のみ				
	土木学会会員・および海外の協定学協会会員に限る※1	会員(個人)	非会員	会員(個人)	非会員	
登録参加料	一般	10,000円※2	10,000円※3	20,000円※3,4	15,000円※3,5	20,000円※3,4
	学生	7,000円※2	7,000円※3	10,000円※3,4	10,000円※3,5	10,000円※3,4

※会員(個人)の投稿料・聴講料は、不課税です。
非会員の聴講料は内税(消費税10%)です。

※1 2022年2月18日(金)17時まで下記入会手続き(入金まで)を完了していれば、講演申込みが出来ます。それまでにご入会ください。(インターネット入会申込受付サービスをご利用下さい <http://www.jsce.or.jp/member/>)

講演申込及び聴講申込締切間際には事務処理の混雑が予想されますので、十分な余裕をもって入会諸手続きをとられるようお願いいたします。学生で大会開催までに卒業予定の方の登録参加料は、申込み時点での資格となります。

入会手続き※詳細は土木学会ホームページの入会案内をご確認ください。

<https://committees.jsce.or.jp/member/information>

- ・インターネット入会の場合：①インターネット入会手続き、②会費納入(クレジットカード、コンビニエンスストア(受付番号))
- ・郵送入会申込みの場合：①入会申込書、②会費(現金書留)を同封する。

【注】現金書留の場合、クレジットカード・コンビニエンスストア利用より手続き完了まで時間を要します。十分に余裕をもってお手続きをお願いします。土木学会窓口での入会受付は、行っておりませんのでご注意ください。

※2 投稿料には参加費、講演概要集代(WEB閲覧形式)が含まれています。

※3 聴講料には参加費、講演概要集代(WEB閲覧形式)が含まれています。

※4 非会員の聴講料は割増になります。

※5 早期割引期間(2022年9月8日17時迄)を過ぎますと、通常の聴講料を頂戴いたします。

◆問合せ先一覧◆

問合せ内容	担当	E-mail・Tel	住所
年次学術講演会 講演・聴講申込方法 システム(Confit) 関連	第77回年次学術講演会 ヘルプデスク (株)ソウブン・ドットコム に委託)	jsce77@soubun.org Tel: 03-3831-2607 受付期間: 2022年3月3日 (木)~9月12日(月) 平日9:30-17:30	〒116-0011 東京都荒川区西尾久7-12-16
上記以外のお問い合わせ	土木学会事務局 総務課 全国大会係	office2@jsce.or.jp Tel: 03-3355-3442	〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園 内
会員入会手続き・会員番号 関連	土木学会事務局 会員・企画課	member@jsce.or.jp	

1 年次学術講演会の概要

(1) **実施期日**—2022年9月15日(木), 16日(金)の2日間

(2) **実施場所**—京都大学 吉田キャンパス

(3) **講演部門**

講演部門は次の7部門および共通セッションからなります。

—共通セッション—

下記の第I～第VII部門の枠を越えた複数の部門に関連する研究のテーマを対象として、共通セッションを設けます。今年度の共通セッションのテーマは、公募によるテーマから以下に示す19件が仮テーマとして選定されました。共通セッションの最終的なテーマ名は講演申込み完了後に決定されます。

- CS1 土木教育一般
- CS2 International Session(国際セッション)
- CS3 新設および大規模改修時における橋梁計画
- CS4 ダイバーシティ&インクルージョン
- CS5 計算力学・データサイエンス
- CS6 複合構造物
- CS7 橋と社会
- CS8 無電柱化整備の計画と技術
- CS9 土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性
- CS10 地震工学・地震災害
- CS11 構造物の設計/維持管理におけるAI/DX
- CS12 放射性廃棄物処分
- CS13 気候変動への適応と緩和
- CS14 土木分野におけるAIの活用
- CS15 気候変動・地球環境問題(第VIII分野)
- CS16 地下空間の多角的利用
- CS17 ビッグ・ピクチャーに夢を見る
- CS18 地域発展のためにインフラを経営する
- CS19 道路橋床版の診断および長寿命化技術に関する調査研究

第I部門—応用力学, 構造工学, 鋼構造, 風工学, 等

第II部門—水理学, 水文学, 河川工学, 水資源工学, 港湾工学, 海岸工学, 海洋工学, 環境水理, 等

第III部門—土質力学, 基礎工学, 岩盤工学, 土木地質, 地盤環境工学, 等(主な論点が地盤工学に関するものであること)

第IV部門—土木計画, 地域都市計画, 国土計画, 交通計画, 交通工学, 景観・デザイン, 土木史, 測量, 等

第V部門—土木材料, 舗装工学, コンクリート工学, コンクリート構造, 木材工学, 等

第VI部門—建設事業計画, 設計技術, 積算・契約・労務・調達, 施工技術, 環境影響対応技術, 維持・補修・保全技術, 建設マネジメント, 等(主な論点が建設工事に関するものであること)

第VII部門—環境計画・管理, 環境システム, 用排水システム, 廃棄物, 環境保全, 等

(いずれの部門においてもその部門に関連した地球環境問題を扱う。)

(4) **講演内容**

年次学術講演会にふさわしい内容を備えたものとし、原則として未発表のものとしします。

(5) **講演時間**

今大会の1題あたりの講演時間について、質疑時間を除き原則として従来のおり7分間を予定しています。その他のセッションの運営については座長の指示に従ってください。

(6) **講演方法**

各部門とも個人発表のみとします。発表では、聴講者が発表自体に注意を集中できるように配慮してください。

(7) **講演申込題数**

全部門を通じて講演者(登壇者)1人につき1題に限ります。

(ただし、共通セッション「土木教育一般」また「ダイバーシティ&インクルージョン」へ講演申込する場合は、研究関連セッションと合わせて2題のお申込が可能です。「土木教育一般」また「ダイバーシティ&インクルージョン」と研究関連セッションへの投稿をお考えの場合は、事務局全国大会係へお問い合わせください。)

※土木学会事務局総務課全国大会係 office2@jsce.or.jp

(8) **優秀講演者表彰について**

例年通り、優れた講演を行った若手研究者、技術者を表彰いたします。詳細は以下URLをご覧ください。

<https://committees.jsce.or.jp/zenkoku/node/263>

(9) **その他**

英語による講演も歓迎します。英文講演概要は、和文執筆要領に準じて作成してください。

(10) **講演概要集**

今年度の講演概要集は、WEB閲覧形式のみとなります。DVDの発行はありません。

2 講演申込方法

(1) 講演申込資格

講演申込みができるのは、申込時点で土木学会の会員(個人)に限ります。非会員の方は、2022年2月18日(金)17時まで土木学会入会手続き(入金まで)を完了してください。

電子投稿の際、土木学会会員番号や生年月日等の入力が必要となります。

協定学協会会員の電子申込は、協定学協会名を明記の上、下記の全国大会委員会係へお問合せご連絡ください。

※土木学会事務局総務課全国大会係 office2@jsce.or.jp_

海外の協定31学協会(略称アルファベット順)

1. ASCE (米国土木学会)
2. CCES (中国土木工程学会)
3. CICHE (中国土木水利工程学会)
4. CNISF (フランス科学・技術者会議)
5. GSCE (カナダ土木学会)
6. EA (オーストラリア工学会)
7. ECCE (ヨーロッパ土木技術者評議会)
8. EIT (タイ工学会)
9. FECIC (メキシコ土木学会)
10. HAKI (インドネシア土木構造工学会)
11. HKIE (香港工程師学会)
12. ICE (英国土木学会)
13. IEB (バングラデシュ工学会)
14. IEI (インド工学会)
15. IEM (マレーシア工学会)
16. IEP (パキスタン工学会)
17. IES (シンガポール工学会)
18. KDPA (韓国防災協会)
19. KSCE (大韓土木学会)
20. MACE (モンゴル土木学会)
21. MES (ミャンマー工学会)
22. MPWT, JICA, ITC (カンボジア公共事業運輸省, 国際協力機構, カンボジア工科大学)
23. NEA (ネパール技術者協会)
24. PICE (フィリピン土木学会)
25. PII (インドネシア工学会)
26. SVR (スウェーデン土木構造工学会)
27. TCCE (トルコ土木学会)
28. TCG (ギリシャ工学会)
29. VASECT (ベトナム構造建設技術協会)
30. VFCEA (ベトナム土木協会)
31. VIBRA (ベトナム橋梁道路協会)

(2) 講演申込方法

※講演の申込みはWEBフォームからの電子受付のみです。

2022年3月3日(木)12時~4月1日(金)17時までの期間内に、土木学会全国大会委員会ホームページ <https://zenkokutaiikai.jsce.or.jp/2022/> から講演申込みと講演原稿投稿を同時に行ってください。

講演申込みはWEBフォームからPDF形式ファイルで受け付けます。E-mail、郵送、原稿持参による受付は致しませんのでご注意ください。

講演申込みをした講演原稿が正しく登録されているかどうかの確認期間を2022年4月4日(月)13時~6日(水)17時まで設けます。講演者自身で必ず土木学会全国大会委員会ホーム

ページ <https://zenkokutaiikai.jsce.or.jp/2022/> から確認してください。

※一度登録した講演者の変更は、講演申込期間中であっても行えません。講演者を変更されたい場合は、一度申込を取消し、新規で講演の申込をお願いします。

※2022年4月1日(金)17時以降の講演申込の取消はできませんので、取り下げる場合は上記期日までに手続きを行ってください(投稿料をお支払いの場合は、聴講料として取り扱わせていただきます)。

※確認期間中(2022年4月4日(月)13時~6日(水))は、登録内容の修正を行えますが、下記については変更不可となりますので、ご注意ください。

①講演者の変更 ②希望セッションの変更 ③講演申込の取消
※4月6日(水)17時以降の講演原稿の修正、登録内容の変更はできません。

原稿は最終ページの「講演原稿執筆要領」に従ってご執筆ください。

連番での発表を希望される場合は、講演原稿の投稿画面の項目「講演の連番希望」の欄に、連番を希望する相手の①講演者、②タイトル、③希望する講演順(3講演以上の場合は全て記入)、をご記入ください。

※連番を希望する両者とも記載してください。

また、連番を希望する相手と同様のセッションを選択してください。

講演申込者の方には、8月上旬にご登録のE-mailアドレスに講演概要集公開サイトへのアクセス方法をお知らせいたします。

現地会場に入場するためには申込後にメール送信される入場証(名札)をプリントアウトしたものが必要となります。8月中にご登録のE-mailアドレスに入場証(名札)をメールいたします。入場証(名札)のケースは会場に用意しております。

申込期間締切り間際に投稿が集中しますと、予期せぬ事態によりサーバーがダウンし受付ができなくなる恐れがあります。締切り間際の投稿は極力避けて頂くようお願いいたします。

(3) 投稿料

投稿料は講演1件につき(聴講料, WEB閲覧式講演概要集代含む), 正会員10,000円, 学生会員7,000円になります。

4月1日(金)までに講演申込画面より, コンビニ支払または, クレジットカードでの支払い手続きを行ってください。

1) 領収書について

(クレジットカードでお支払いの場合)

入金確認が行われると, Confitのマイページから領収書がダウンロードできるようになります。(発行方法ご参照:
<https://committees.jsce.or.jp/zenkoku/node/217>)

(コンビニでお支払の場合)

窓口でお渡しされる発行の控え(取扱明細書兼領収書, インターネットショッピング払込領収書等)を領収書とさせていただきます。

※個別の領収書の発行は行いません。

2) 複数の参加者の参加費をまとめる, 後払いの手続きなど, 請求書の発行は行いませんので, ご了承の程お願いいたします。

なお, 投稿料は前払いとなります。講演申込を取り下げた場合も, 返金いたしません。

(4) 採否

採否については, 全国大会委員会にご一任ください。

所定期間までに原稿提出のないもの, 電子受付で講演原稿執筆要領に準じていないものは講演概要集への掲載及び大会での発表はできません。

(5) 著作権の譲渡について

著作権は投稿により土木学会へ譲渡に同意したものととなります。

(6) プログラム編成について

講演者の希望する部門とセッションを参考にしますが, プログラム編成は全国大会委員会に一任ください。また, プログラムに対する異議申し立ては, 認めません。

聴講のみで参加される方

年次学術講演会に聴講者として参加される方（連名者含む）は、聴講者登録申込みの手続きを済ませてください。

講演者は、改めて申し込み手続きをされる必要はありませんが、連名者で参加される方は講演者とは別に聴講申込みが必要です。

聴講申込受付期日：6月6日（月）13時～大会当日まで
 なお、7月23日～7月31日まではデータ移行期間のため申込みできません。

講演プログラム等の詳細につきましては、2022年6月中旬に土木学会ホームページで公表しますのでご参照ください。

※聴講申込後、やむを得ずキャンセルをされる場合は、必ず参加取消を行ってください。

(1) 申込資格

土木学会会員（個人）、非会員いずれも可能です。ただし、聴講料が異なります。非会員の方はこれを機会に学会への入会をお勧めします。

(2) 聴講料

聴講料（参加費、WEB閲覧形式講演概要集を含む）は、土木学会の会員（個人）、非会員の別、および早期割引期間と通常料金期間によって、料金が異なります。下表をご覧ください。

なお、会員として参加申込をされる方は、2022年8月31日（水）までに入会手続き（入金まで）を完了してください。

		聴講料	
		早期割引期間	通常料金期間
		期間① 6/6（月）13時～7/22（金）17時まで 期間② 8月上旬～9/8（木）17時まで ※7/23（土）～7/31（日）の間はデータ移行期間のため、申込不可 ※期間②はクレジットカード決済のみ	9/9（金）～大会当日 ※クレジットカード決済のみ
会員	一般	10,000円	15,000円
	学生	7,000円	10,000円
非会員	一般	20,000円	20,000円
	学生	10,000円	10,000円

※会員（個人）の聴講料は不課税です。

非会員の聴講料は内税（消費税10%）です。

(3) 聴講者の登録参加申込方法

土木学会全国大会委員会ホームページ

<https://zenkokutaiikai.jsce.or.jp/2022/> から聴講登録参加申込手続きを行ってください。早期割引期間を過ぎますと、通常料金となります。

聴講料は、聴講者登録参加申込時に、画面からコンビニ支払または、クレジットカードでの支払い手続きを行ってください。

1) 領収書について

（クレジットカードでお支払いの場合）

入金確認が行われると、画面から領収書が印刷できるようになります。（発行方法ご参照：<https://committees.jsce.or.jp/zenkoku/node/217>）

（コンビニでお支払の場合）

窓口でお渡しされる発行の控え（取扱明細書兼領収書、インターネットショッピング払込領収書等）を領収書とさせていただきます。

※個別の領収書の発行は行いません。

2) 複数の参加者の参加費をまとめる、後払いの手続きなど、請求書の発行は行いませんので、ご了承の程お願いいたします。

事務局にて入金を確認した後、8月上旬にご登録のE-mailアドレスに講演概要集公開サイトへのアクセス方法をお知らせいたします。

参加申込をされても、聴講料のお支払い手続きがお済みでない場合は、早期割引期間の聴講料となりませんのでご注意ください。

なお、お支払い済みの聴講料の返金はできません。

現地会場に入場するためには申込後にメール送信される入場証（名札）をプリントアウトしたものが必要となります。

8月中にご登録のE-mailアドレスに入場証（名札）をメールいたします。入場証（名札）のケースは会場に用意しております。

大会期間中も含めて聴講申込をしていただくことは可能ですが、アクセスが集中するとメール送信にタイムラグが生じる可能性がありますので、早めに（前日までに）お済ませください。

現地会場での参加登録や支払いはできません。ご自身のパソコン、スマートフォンで聴講申込をしてください。

●共通セッションテーマ

年次学術講演会では7部門に分かれたセッションを設けます、さらに、これらの7部門を越えた研究および複数の部門に関連する、研究のテーマを対象として、共通セッションを設けます。

今年度の共通セッションには、次の19件が仮テーマとして選定されました。共通セッションにおける講演を希望される方は、電子申込みの際に第一志望欄に、希望するセッション名を選択してください。

また、仮テーマが成立しない場合のために、第2、第3志望欄に一般セッションの部門・名称を必ず選択して下さい。

共通セッションの最終的なテーマ名および構成は、講演申込み完了後、全国大会委員会で決定されます。申込み状況により、共通セッションを構成する講演数に満たない場合は、一般部門における発表とします。ご了承ください。

なお、共通セッションの講演概要も講演概要集に掲載されます。

CS1 土木教育一般

土木の分野においては、土木教育全般にかかわる課題に加えて、JABEE、継続教育、技術者倫理教育、技術者資格など人材育成関係の活動が活発に行われており、教育の重要性が広く認識されている。本セッションでは、これらの教育活動全般にかかわる課題を幅広く募集する。

※CS1 土木教育一般の他に研究関連セッションへの投稿もお考えの場合は、事務局全国大会係へお問い合わせください。

CS2 International Session 国際セッション (The 24rd International Summer Symposium)

国際セッションでは留学生や日本人学生、若手技術者の英語による発表を広く募集する。英語による発表をお考えでしたら国際セッションへの投稿をお願いします。

このほか「国際」という切り口による土木技術ならびに土木技術者に関する様々な視点、立場、考え方からの発表も歓迎する。なお、国際セッションは国際センター・留学生グループ主催「インターナショナルサマーシンポジウム」の一環として実施する。

CS3 新設および大規模改修時における橋梁計画

橋梁の新設や大規模な改修を計画するに当たっては、本体の構造設計や材料選択のみならず、維持管理や社会的コストを含めた経済性、自然環境や景観への配慮、防災計画における位置づけ、契約方式や計画に対する合意形成等々、分野を超えた様々な要素を勘案した総合的な技術的検討が重要である。過去のプロジェクトを含め「橋梁」を切り口に幅広い議論の場としたい。

CS4 ダイバーシティ&インクルージョン

土木界における人材の多様性の推進については、産官による行動計画や土木学会による行動宣言が発表され、今後、さまざまな業種での取り組みが急速に進むものと期待される。発生する課題や知見を共有することは、継続的な実行には不可欠である。そこで本セッションでは、土木界におけるダイバーシティ&インクルージョンに関する事例報告、分析、先行研究の紹介等の投稿を募集し、情報の共有と知見の蓄積を行うこととしたい。

※CS4 ダイバーシティ&インクルージョンへの投稿もお考えの場合は、事務局全国大会係へお問い合わせください。

CS5 計算力学・データサイエンス

次の各分野における計算技術の発展・展開に関する研究を募集する。(a) FDM, FEM, BEM, メッシュレス法等の解析手法。(b) 高速解法, アルゴリズム, 適応型計算法, モデル生成, 可視化手法, 並列計算, マルチスケール法等の計算力学手法。(c) 破壊問題, 大変形問題, 材料非線形問題, 接触問題, 動的問題, 波動問題, 固体流体連成問題, 乱流, 移動境界問題, 地球環境・気象, 災害・防災のシミュレーション, 騒音問題, 逆問題, 最適化・制御問題等への応用 (d) (a)-(c)に対するデータサイエンスの応用

CS6 複合構造物

複合構造は異なった材料の長所を組み合わせ、求められる性能に対して合理的で理想的な構造を実現しようとするものである。中でも、鋼とコンクリートの複合構造は活発に研究され実施例も多く一分野を形成するに至っている。一方、高分子系材料、新素材等、新たな異種材料による複合構造や補修補強工法も種々提案され、一般化されつつある。本セッションでは、これらの異なった材料を対等の視点で捉え、複合構造の適用可能領域を広げるのに役立つ発表と討議の場を提供する。

CS7 橋と社会

橋は土木工学の核の一つであり、社会におけるその役割も広がりを見せている。田中賞選考委員会では、橋に関するコンセプトやビジョン、アイデア・オピニオン、イノベーション、生産性向上、ビジネス、文化・歴史、普及・啓発、教育・育成・継承、持続性・SDGs、地域活性化・住民参加等、従来の枠組みにとられない将来性や社会性に優れた講演を幅広く募集する。

CS8 無電柱化整備の計画と技術

無電柱化整備の更なる推進においては、コスト縮減や事業のスピードアップのための技術開発とマネジメント、効率的・効果的な整備計画手法や合意形成手法の確立、近未来社会への対応など、関連する様々な実務的課題に対して、学術的知見を総合的に蓄積・活用していく必要がある。そこで、本セッションでは、無電柱化整備に関連する計画論・技術論的研究や事例研究を広く募集し、最新動向を俯瞰しながら、分野横断的に幅広い視点で議論を行う。

CS9 土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性

土木分野におけるセンサ技術の利用は、施工と維持管理を中心に防災や環境などの分野でも進展している。特に我が国における社会資本の老朽化対策に資する新技術の活用等として「モニタリングシステムの開発」が脚光を浴びている。加えて、衛星測位、画像処理、光ファイバ、MEMS、RFID など各種のセンサの応用が図られ、通信技術と組み合わせたセンサネットワークも展開されつつある。本セッションでは、今後ますます活発化すると予想されるセンサ技術の利用に関して、種々の試みや事例に関する論文を幅広く募集する。

CS10 地震工学・地震災害

地震工学・地震災害（Ⅷ分野：分野横断）は各部門にまたがる多面的分野である。多様な専門性の研究者・実務者が分野横断的に議論することを目的として、地震に関連するセッションを統合した。構造物の耐震（橋梁、基礎、ダム、タンク、原子力施設、地中構造物、土構造物、港湾）、免制震、地震動、断層、液状化、津波、地震PRA、危機耐性、地域安全などをキーワードとしてあげるが、地震に関するあらゆる投稿を歓迎する。

CS11 構造物の設計/維持管理における AI/DX

インフラ構造物の効率的な設計と維持管理のために AI を活用した技術開発と社会実装が進んでいる。また、インフラデータの分析と活用を通じた DX への取り組みが始まっている。本セッションでは構造物に関わる AI/DX の最新の取り組みを、基礎技術開発から、データ収集、開発プログラム検証、概念設計、社会実装と評価まで幅広く扱う。

CS12 放射性廃棄物処分

原子力発電により発生する放射性廃棄物の処分では、大深度地下での建設や長期挙動予測といった技術的課題がある。また、福島第一原子力発電所の事故を契機に放射性元素を含む物質の保管や処理等の技術開発ニーズは一層高まっている。こうした技術開発等に関連する社会実装や理解醸成も欠かせない要素となっている。本共通セッションでは、課題解決のため、部門をまたぐ総合的な取り組みが求められることから、放射性廃棄物の保管・処理・処分について幅広く募集し、技術的知見の集約と総合的議論を加速させる。

CS13 気候変動への適応と緩和

気候変動の影響は近年の豪雨や台風などによる災害の増加により顕在化しており防災対策の必要性は疑う余地がないばかりでなく、利水や環境といった側面でも気候変動への適応が急務となっている。昨年に引き続き本セッションは、気候変動をキーワードに、水圏における治水、利水、環境を中心に、我が国の土木分野全体に関連する様々な視点から取り組む影響評価や適応策研究について幅広く議論し、緩和策に関する検討も含めた、より横断的な研究の推進、連携の活性化、新たなテーマの発掘を目指す。

CS14 土木分野における AI の活用

近年の ICT の急速な発展に伴い、IoT 端末で収集したデータから現状を「見える化」し、各種の膨大なデータを多面的に蓄積して「ビッグデータ化」し、これらのデータを、人工知能（AI）を活用して分析・予測する、という広義の IoT が提唱され、新たな価値の創出が期待されている。また、オープンデータ化により、これらに官民の様々な情報も融合させて、より有用な情報を創出する試みも行われている。本セッションでは、土木分野における AI の活用について、種々の試みや事例に関する論文を広く募集する。

CS15 気候変動・地球環境問題（第Ⅳ分野）

土木学会は1992年に組織を横断する委員会として地球環境委員会を創設し、気候変動への緩和策、適応策等についての研究や実践を進めてきた。しかし、昨今の集中豪雨の激化に伴う都市機能の停止や洪水被害の発生など、土木学会の総力をあげての対応が求められる社会状況となっている。このような状況を鑑み、全分野を横断しての地球環境問題への意見交換の場を設定する。

CS16 地下空間の多角的利用

地下空間を有効利用するために、総合的な観点（都市計画、法制、経済性、心理、生理、防災、環境、建設、維持管理、歴史、文学等）から、地下空間の価値を議論することが本セッションの目的である。ここでは都市部に限らず、幅広く地下空間利用の実例について注目し、多角的な利用を推進するための新しい視点・技術の提案、最新の知見を駆使した計画・実例なども含めて、地下空間に関わる論文を募集する。

CS17 ビッグ・ピクチャーに夢を見る

新しい国土のビッグ・ピクチャーを「描く」にあたっては、これまでの細分化された想像力や問題解決型の創造力を超克することが必要だと思われる。本セッションでは、各人の専門を最大に尊重しつつもその「枠・フィルター」を可能な限り除去し、それでもなお各人に残存する価値やビジョンをベースとして、分野横断的な討議を行う。これをもって、現役世代・次世代全てが日本の未来に「わくわく」を見出すきっかけとしたい。

CS18 地域発展のためにインフラを経営する

PPP/PFI（官民連携事業手法）は、これからの地域の公共インフラ（公共施設など）を賢く経営するためにとても重要な手法である。PPP/PFI事業の現状と課題を討議する。バックキャストिंग的考えのもとに、地域のインフラ経営を企業経営的視点から意見交換を行う。

CS19 道路橋床版の診断および長寿命化技術に関する調査研究

道路橋床版の疲労損傷に加え、塩害、凍害、ASRなどとの複合劣化による損傷事例が増加しており、これら複合劣化についてのメカニズムの解明や劣化予測に関する調査研究が必要であるとともに、道路橋床版の診断や長寿命化に資する新材料や新工法などの技術開発、ライフサイクルコストの縮減、合理的設計法の検討なども期待されている。本セッションでは、これらに関する講演を募集し、幅広い視点から議論を行う。

●部門別セッション名

※各部門内のセッション名を整理し区分しました。その結果、セッション名が大きく変更となっている場合がありますのでご注意ください。

なお、従来のⅠ部門の合成構造、Ⅴ部門の合成・複合構造は共通セッションの複合構造物にご投稿ください。

※研究関連セッションの他に、「CS1 土木教育一般」「CS4 ダイバーシティ&インクルージョン」への投稿もお考えの場合は、事務局総務課全国大会係 office2@jsce.or.jp へお問い合わせください。

第Ⅰ部門

[応用力学] 固体力学, 計算力学(構造), 計算力学(非構造), 計算力学(アルゴリズム), 弾塑性, 有限変位, 振動, 波動, 衝撃(解析), 衝撃(実験), 数値解析

[構造工学] 骨組・骨組部材, 薄肉構造, 板, シェル, 橋梁床版, エキスパートシステム, 特殊構造, 最適設計, 安全性・信頼性, 維持管理, 構造計画, 構造景観, 構造同定, 診断・補修・補強, 宇宙構造物

[鋼構造] 座屈・耐力(桁), 座屈・耐力(柱), 座屈・耐力(板), 座屈・耐力(その他), 非破壊評価, 破壊力学, 疲労, 溶接, 接合, 継手, 橋梁一般(設計), 橋梁一般(施工), 橋梁一般(測定・モニタリング), 橋梁振動

[風工学] 耐風・風工学(数値流体), 耐風・風工学(基礎), 耐風・風工学(応答予測・制御), 耐風・風工学(事例報告・観測)

第Ⅱ部門

[水理学・環境水理等] 流体力学, 数値流体力学, 乱流, 管路の水理, 水理構造物, 流体力, 密度流, 氾濫流の水理, 河口の水理・水質, 水圏の生態系(魚類・底棲生物・植生等), 水圏環境の保全・再生・創造, 物質輸送・循環(栄養塩類等), 構造物周辺の流れ・洗掘, 植生水理, 水理計測・観測手法, 河川環境構造物(魚道・人工生息場等), 水系土砂管理

[水文学・水資源] 地球環境問題, 自然共生, 水災害リスクマネジメント・危機管理, 都市の水・熱環境, 地球規模の水・エネルギー循環, 気候変動・社会変動と水循環, 国際的プロジェクト・国際協力, 流況制御, 流域管理・計画, 都市雨水流出管理・計画, 水災害・防災, 都市の水災害, 国際的水問題, 地下水理・地下水文, 水工情報システム, 水文・水循環計測, 水文統計, 流出・洪水, 水資源計画・管理, 大気水象(降水・雲), 大気陸面相互作用

[河川・湖沼・ダム] 河川の水環境(物理学的動態解析), 流砂(土石流, 泥流, 掃流, 砂浮, 遊砂, ウオッシュロード, 底泥), 河道の水理, 土砂の生産・流出, 流路・河床形態, 流路・河床変動, 河川地形, 河川工法, 河川計画・管理, 閉鎖水域環境(湖沼・貯水池における物理学的動態解析), 閉鎖水域の水理(湖沼・貯水池), ダム堆砂・排砂, 開水路・複合水路(複断面・わんど)の水理, 拡散・分散

[海洋・港湾・海岸工学] 沿岸域の環境・生態系, 沿岸域のアーメンティアー・人間工学, 波動, 碎波・遡上, 風波・不規則波, 高潮・津波・長周期波, 海底・海水面境界過程, 沿岸域の流れ, 波力・流体力・氷力・地震力, 波・流れ制御・利用構造物, 海岸・海洋・港湾・水産施設, 漂砂機構, 飛砂・飛沫, 海岸地形,

漂砂制御, 局所洗掘, 底泥の挙動, 海岸地盤, 海岸災害・防災, 海岸・海洋の資源・利用, 港湾・海岸計画

第Ⅲ部門

[地盤材料・一般] 土の物理化学的性質, 砂の変形強度, 粘土の変形強度, 土の動的性質, 土质地質, 岩の工学的性質, 試験法・調査法, 土質安定処理・地盤改良, 流動化処理土, 特殊土, 不飽和土

[地盤の挙動] 地盤の動的挙動, 圧縮・圧密, 地盤の応力と変形, 透水・浸透, 現場計測, 凍結・凍土, 数値解析, 地盤の性能評価

[地盤と構造物] 土圧, 地圧, 支持力, 杭, 基礎工, トンネル, シールドトンネル, 地下空洞と地下構造物, 地下利用, 掘削, 土留め, 補強土, 締固め, 路床・路盤, フィルダム, 施工機械, 維持・補修

[地盤防災] 斜面, 安全性・信頼性, 火山工学, 都市地盤情報, リスクマネジメント, 洗掘・侵食

[地盤環境] 廃棄物, 土壌地下水汚染, リサイクル

第Ⅳ部門

[土木計画] 計画理論, 信頼性・リスク分析, 社会・経済分析評価, プロジェクト評価, 計画情報・情報処理, 施工管理計画, 港湾計画, 空港計画, 物流

[地域都市計画] 都市・地域計画, 都市整備・都市開発, 土地利用計画, 観光・余暇計画, パブリックインボルブメント・住民参加

[国土計画] 資源・エネルギー, 防災計画, 災害分析, 環境計画

[交通計画] 交通調査方法論, 交通発生, 交通分布, 交通手段分担, 交通配分, 交通ネットワーク, 交通アセスメント, 交通需要マネジメント, 交通情報提供, 交通サービス評価, 地区交通, 駐車場・駅前広場, 歩行者・自転車交通, 高齢者・身障者交通, タクシー・STサービスの交通政策・交通システム, 公共交通

[交通工学] 道路工学, 交通流, 交通制御, 交通公害, 交通事故, 鉄道計画

[景観・デザイン] 景観デザイン, 景観調査・分析, 景観認識, 景観評価

[土木史] 土木史

[測量] 測量・リモートセンシング

第Ⅴ部門

【土木材料】 リサイクル, 新材料・新工法(材料), 骨材, 混和

剤, 混和材, フレッシュコンクリート, 高流動コンクリート, **第VII部門**

水中コンクリート, 軽量コンクリート(材料), 吹付けコンクリート, 短繊維補強コンクリート(材料), 連続繊維補強コンクリート(材料), 海洋コンクリート, 特殊コンクリート, 物性, 評

価・試験方法, セメント化学, 引張・圧縮, クリープ・収縮, ひび割れ, 温度応力, 製造・施工, 品質管理・検査, ポンプ圧送, 締固め, 維持管理, 劣化予測, 耐久性一般, 耐火性, 複合劣化, 鋼材腐食, 防食, 塩害, 凍害, アルカリシリカ反応, 非破壊試験法, 補修・補強(材料), 耐久性設計, 副産物利用・再生材料, 再生コンクリート, エコ・緑化コンクリート, リニューアル, ライフサイクル(LCC・LCA), サステナビリティ

【舗装工学】 路面評価(舗装), 構造評価(舗装), 構造設計(舗装), 維持・修繕(舗装), リサイクル(舗装), 環境保全(舗装), 舗装材料, 路床・路盤, アスファルト系舗装, セメント系舗装, 特殊舗装, 舗装一般

【コンクリート工学/構造】 新材料・新工法(構造), 軽量コンクリート(構造), 短繊維補強コンクリート(構造), 連続繊維補強コンクリート(構造), プレストレストコンクリート, プレキャストコンクリート, コンクリート製品, 補修・補強(構造), 破壊力学, 曲げ, せん断・ねじり, 耐震, 振動, 耐震補強, 耐震診断, 付着・定着・継手, 疲労・衝撃, 数値解析, 構造設計, 構造物調査・診断

【木材工学】 木材・木質材料, 木材利用, 木材(耐久性)

第VI部門

【建設事業計画】 事業計画, 計画技術, 知的情報処理

【設計】 設計概念, 景観設計, 設計技術

【調達/Procurement】 入札・契約, 積算・見積, 資金調達, 技術力評価

【施工(技術)】 施工計画, 施工技術, CIM, 建設ロボット, 自動化システム, 情報化施工, 測量・計測, GPS, GIS, リモートセンシング, 技術開発, 新材料・新素材, 海外工事, 建設環境(リサイクル・土壌浄化・水質浄化・廃棄物), 河川構造物, 港湾・海洋構造物, 空港, 橋梁, 開削トンネル, シールドトンネル, 山岳トンネル, 地下構造物, ダム, 各種基礎, 特殊構造物, 土留め, 地盤改良, 耐震・免震, 鉄道

【施工(管理)】 コスト管理, 品質管理, 工程管理, 安全管理, 品質保証

【維持・管理】 アセットマネジメント, 検査技術・診断, リニューアル(維持管理・補修・補強・更新), 軌道保守

【建設マネジメント】 建設マネジメント, プロジェクトマネジメント(PM/CM), 公共マネジメント, リスクマネジメント, 合意形成, 公共政策, PFI・PPP, コスト縮減, 組織・人材育成, 建設技術評価, 建設産業・建設市場

【環境計画】 環境影響評価, 環境リスク評価・管理, 地域環境計画・管理, 森林・植生, 環境創造・ビオトープ, 水資源・水需給, 国土・都市更新

【環境システム】 環境意識・環境教育, 環境倫理, 環境経済, 循環型社会, ライフサイクルアセスメント(LCA), 都市環境, 熱環境・エネルギー

【用排水システム】 生態工学, 浄水処理, 下水処理, 物理化学処理, 嫌気性処理, 膜分離・処理, 生物膜処理, 栄養塩除去, 上下水道管理, 都市雨水流出管理

【廃棄物】 汚泥処理技術, 廃棄物収集・処理・処分計画, 埋立処分場管理, 循環資源・リサイクル

【土壌・水環境(魚類を除く生物学的・化学的な動態解析と環境改善技術)】 水質モニタリング・解析, 生態系モニタリング・解析, 水質浄化技術, 自然浄化機能, 水環境モデリング, 水辺環境計画・管理, 流域環境計画・管理, 底泥, 遺伝子工学, 毒性評価, 有害物質環境汚染, 内分泌攪乱化学物質, 土壌・地下水汚染(分析修復技術), バイオレメディエーション

【大気環境・騒音振動】 大気モニタリング・解析, 大気浄化技術, 大気環境モデリング, 悪臭, 騒音, 振動, 酸性雨, 温暖化対策

●講演原稿執筆要領

本文は、PDF ファイルによる電子投稿原稿作成の執筆要領です。WEB でも詳しく案内しています。

<https://zenkokutaiikai.jsce.or.jp/2022/>

1. 目的

講演概要集の目的は、聴講者の便宜のため、かつ来場できない会員に講演内容を伝えるために作成します。したがって、聴講者が研究の目的、考え方、手法および結論を理解できるように配慮して下さい。

2. データ書式

原稿は、Adobe Acrobat を用いて変換された、PDF ファイルで提出して頂きます。ファイルサイズは 5MB 以内とし、印刷した場合のページ数が A 4 判タテ型・2 ページとなるよう原稿を作成して下さい（厳守です）。これを超えた原稿は受け付けられません。また、投稿するファイルは PDF 形式とし、圧縮ツールは使用しないで下さい。

なお、Adobe Reader（アドビシステムズのホームページよりダウンロードできます）を用いて、作成した PDF ファイルの原稿が執筆者の意図したとおりに印刷されることを確認して下さい。

PDF 化にあたっての解像度の設定は制約を設けません。上記のファイルサイズ以内に納まる限り、執筆者の自由とします。ただ、印刷の場合を考慮すると、テキストおよび白黒ビットマップ画像の解像度は 1200dpi 程度、カラーおよびグレースケールのビットマップ画像（写真等）の解像度は 300dpi 程度が目安になります。

なお、講演概要集編集の障害となりますので、PDF ファイルにパスワードの設定は絶対に行わないで下さい。

3. 使用アプリケーション

原稿作成に使用するプラットフォーム／アプリケーションソフトは問いませんが、最終的に投稿するファイルは PDF 形式とし、Adobe Acrobat Reader で表示／印刷できるものとします。

PDF 化にはいくつかの方法がありますが、上記を満足する限り、執筆者の判断で適宜選択して頂いて結構です。

4. 用紙設定

A4 版・縦（210×297mm）とし、上下余白各 18mm、左右余白各 15mm を必ず確保して下さい。（上下余白は、柱、ページ記入に必要です。）

5. 書式

横書き、48 文字／行、42 行／ページ程度を標準とします。（2 段組でもよい）本文の文字の大きさは 10 または 10.5 ポイント程度としフォント、英数字は Time (Times New Roman) / Helvetica / Symbol 等を、日本語は明朝、ゴシック等を使用して下さい。

日本語フォントにおけるギリシャ文字（ σ δ ε 等）の使用は可能ですが、機種／フォントに依存する特殊文字（①、②、I、II、 m^2 等）、半角カナおよび HG 系のフォントは文字化けの原因となりますので使用しないで下さい。

上記は、異種プラットフォームにおけるファイルの互換性を確保するために必要です

6. 表現方法

文字色は黒とします。図・表・写真等については色の制約はありませんが、白黒プリンタに出力した際に問題が生じないように配慮して下さい。

なお、原稿の中に関連するホームページへのリンクを作成しても構いません。

7. 書き出し

原稿の 1 ページ目には、題目・勤務先・会員種別・氏名・本文の順に書いて下さい。

題名は第 1 行の中央に配置してください。次に 1 行あけて、勤務先・会員種別・講演者名（連名の場合は講演者（前に○印を記入）、連名者の順）を右側に寄せて書き、1 行あけて本文を書き出して下さい。

8. キーワード・連絡先

1 ページ目最下段に罫線を入れ、キーワード（6 語まで）および連絡先を記述して下さい。

9. 図・表・写真

図・表・写真等は原稿に張付けた状態で PDF 化することとし、別ファイルにしないで下さい。

10. 原稿の取扱い

原稿ファイルは電子申込み時に同時に送信することになります。

ただし、何らかのトラブルで原稿を再送していただく必要が生じる可能性がありますので、原稿ファイルは削除しないで保存しておいて下さい。

11. 原稿受付期間

受付期間：2022 年 3 月 3 日（木）12 時～4 月 1 日（金）17 時

提出先：土木学会ホームページの年次学術講演会電子申込みページ <https://zenkokutaiikai.jsce.or.jp/2022/>

※締切直前はサーバが大変混雑することが予想されるため、できるだけ早めの申込みをお願いします。

12. 採否

採否は全国大会委員会にご一任下さい。

13. 問合せ先

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目外濠公園内

公益社団法人 土木学会 全国大会係宛

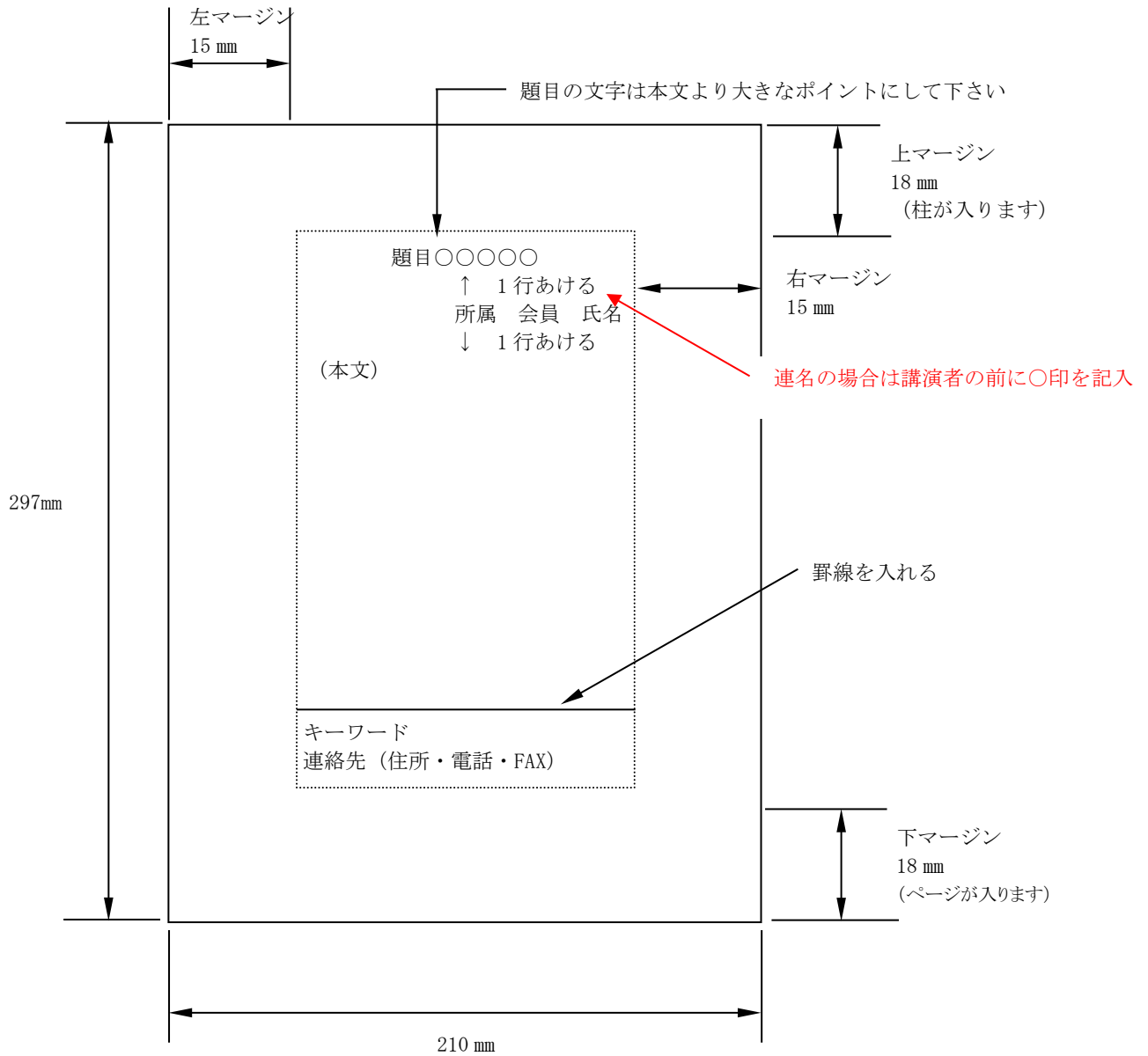
TEL 03-3355-3442

E-mail : office2@jsce.or.jp

14. 原稿作成用テンプレート

https://zenkokutaiikai.jsce.or.jp/2022/?page_id=524

原稿の書式(1 ページ目)



注) 点線の囲み枠は印字いただく範囲を示したものですので原稿には不要です.